

「# 比例は共産党」の大波起こし 近畿 4 議席なんとしても

「政権交代せよ」訴えに大きな手応え

近畿いっせい宣伝

総選挙目前、菅首相の政権投げ出し、野党共闘の大きな前進の中、10日に行った近畿いっせい宣伝は、289カ所で11.9%の支部、1239人、194議員が参加し、1万802枚のビラを配布しました（緊急事態宣言下で大阪、兵庫のいくつかの地区が未集約）。

比例・小選挙区候補が総選挙勝利・政権交代を訴え。「日曜版宣伝紙、ビラの受け取り、反応は良く、『政権交代して欲しい』と声をかけてくる人あり」（京都西地区）、宣伝していた滋賀・節木県議に女性が駆け寄り、「絶対に政権交代して欲しい」と訴え（JR おごと駅前）、「どこでもビラの受け取りがよかったとの感想が多かった（京都・乙訓地区）などの反応がありました。（写真は京都市下京区で訴える、こくた衆院議員）



「比例目標達成、小選挙区で勝利に迫る」

清水さん 事務所開きのついでに決意

大阪4区・清水ただし事務所開きのついでに11日開かれ、110人以上が参加しました。「街で毎日共産党の姿が見えない日はないと言うくらい打って出て頑張りたい」「清水議員の地元の福島区でこそ比例をしっかりと意識した取り組みをする。地元でこそ、近畿4議席に貢献する」など息高い発言が相次ぎました。

山中智子大阪市議が、「カジノ誘致と『都構想』阻止へ必ず国会でIR整備法と特別区設置法の廃止を」と訴え。宮本たけし前衆院議員が「比例の得票目標をやりぬくことで小選挙区勝利の展望が見えてくる」とのべ、柳利昭大阪府委員長が、公示までに支持拡大目標をやり上げることを強く訴えました。（写真は歓声に応える清水＝右、宮本両氏）

清水議員は、安倍・菅政治を総決算し、政権交代を実現する総選挙にすることを力説し、「私は、寸暇を惜しんで街頭に立ち、国民が声を上げれば政治は変わる、選挙に行くことで暮らしが守られることを大いに訴えます。棄権した人のうち、4人にひとりが今度は『清水ただし』と書いて投票すると私は小選挙区でも当選できます。比例代表で47,000票の目標を達成し、小選挙区でも勝利に迫りたいと思います」と決意を語りました。

和歌山 田村副委員長迎えオンライン演説会 460カ所、700人

田村智子副委員長、こくた恵二衆院議員らを弁士に和歌山オンライン演説会が開かれ、準備期間の短い取り組みでしたが、76%の支部が参加し、700人が460カ所で視聴しました。「田村さんの話には以前、副委員長の小笠原貞子さんの話を聞いた時の感動を思い出した。参加してよかった」「99年党名変えず、ブレずに貫いた姿勢に共感」などの感想や「市民連合」の事務局の人から「総選挙を小選挙区から見ていたが、比例で全国から共産党を押し出すこと大切だと思った」との声が寄せられました。立憲、国民、社民各党からあいさつがありました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 46(2021.9.13)